

ねむろトピックス

根室カトリック幼稚園の おともだち

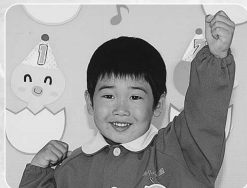
夢・おまきくなら



かたおか こうや
片岡 誇欽くん（3才）
“ケーキ屋さん”になりたい！



ふじい のあ
藤井 希歩ちゃん（5才）
“スター”になりたい！



いとう たけし
伊藤 健志くん（4才）
“工事の人”になりたい！

DREAM



6月27日から8月1日までの日程で、四島医療関係者研修団が市立根室病院や市内医療機関等で研修を行いました。

7月12日、根高祭の仮装パレードが行われました。パフォーマンス会場の明治公園では、多くの観客が訪れ楽しいパフォーマンスに大きな声援を送っていました。



7月18・20日、根室盆踊り大会が開催されました。18日の子供仮装盆踊り大会では、500人もの子どもたちが工夫を凝らした仮装を披露しました。

春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎0153-25-3047

「今年生まれのヒナたち」

春国岱の砂丘でハマナスの花が咲き始めるころ、元気に育ったヒナたちが巣立ちを始めます。先日、第一砂丘を歩いていたら、草の上に止まっているノビタキの巣立ちヒナに出会いました。巣立ちヒナは、模様や色などは親鳥のメスに似ていることが多いのですが、頭のあたりにフワフワの羽が残っていたり、くちばしが横に広かったり、端が黄色だったりするので、親鳥と見分けることができます。ノビタキの巣立ちヒナをしばらく観察していると、近くで「ジャッ、ジャッ」と騒がしく鳴く声が聞こえてきました。どうやら親鳥が戻ってきたようです。急いで、その場を離れ、遠くから観察してみることにしました。親鳥は、高い草に止まって狙いを定めると、見事に虫を捕まえ、ヒナの近くに止まりました。すると、ヒナは少し高い声で鳴き

ながら、大きな口をあけて、翼を小刻みに震わせました。これは、ヒナのおねだりポーズです。ヒナにえさをあげると、親鳥はヒナから離れまたえさを探しにきました。

巣立ったばかりのヒナは、上手に飛べないことが多く、また、えさも自分で取ることができません。そのため、巣立ったあとも、しばらくは親鳥の側にいて、えさをもらって過ごします。その間は、親鳥からえさの取り方や飛び方、外敵からの身の守り方など生きていくために必要なことを教わります。

この時期、「巣から落ちて飛べないヒナがいるのだけれど、どうしたらいいだろう？」という相談を受けることがあります。もし、皆さんがそうしたヒナを見つけたとしても、拾わないで、そのままにしておいてください。そのヒナは、きっと巣から落ちたのではなく、巣立ちをしたヒナだと思います。親がえさを持ってくるまで、おとなしく待っているところなのかもしれません。その時近くに親鳥がいなくても、必ずヒナのところに戻ってきます。親切で拾ったつもりでも、親鳥から見れば、可愛いわが子を誘拐されたのと同じです。飛べないヒナを見つけても、どうか、そっとしておいてあげてください。



ノビタキのヒナ

（レンジャー 富岡 優子）